

危険予測トレーニング(KYT) — 危険感受性を育てる

第9回 料金所での危険

活用方法

- ① 少人数のグループをつくります。
- ② 「交通場面のイラスト」を見ながら、Q1、Q2について意見を出し合います。
- ③ その後、「解説※」を参考にして、どんなことに気をつけて運転すればいいか再び話し合ってください。

※「解答・解説」と「交通場面のイラスト(カラー・A4版)」は下記SJのホームページでご覧いただけます。またPDFファイルもダウンロード(無料)できます。

<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/sj/>

【使用上の注意】

- 営利目的での利用はおやめください。
- 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください。
- その他、使用に関するご質問はお問い合わせください。

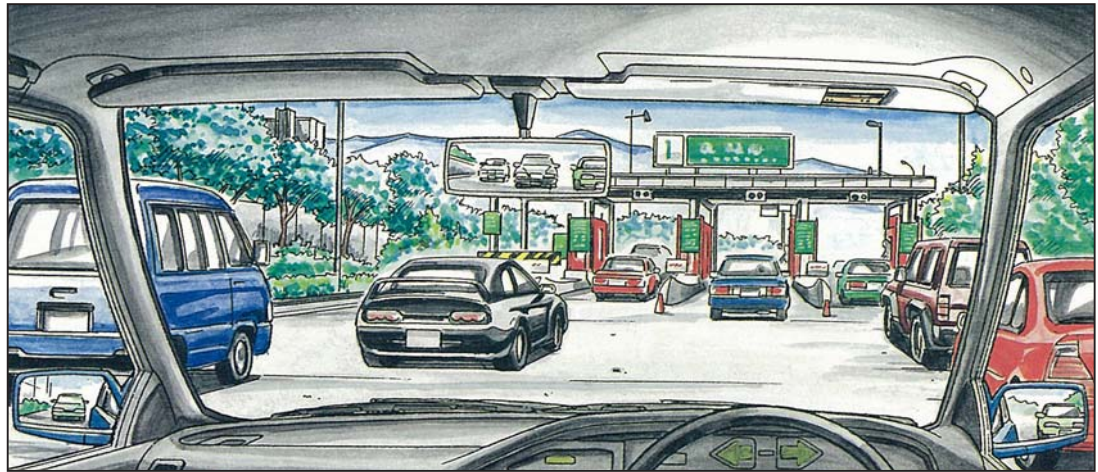
本田技研工業(株) 安全運転普及本部  
TEL: 03 (5412) 1736



今回のKYTの題材は、Hondaの危険予測トレーニング教材「交通状況を鋭く読む〜危険予測トレーニング(四輪車用)」から抜粋しています。詳細については以下ホームページ参照。

<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/kyt/training/>

交通事故を防止するためには、路上で出会うさまざまな危険を予測することが大切です。このコーナーでは危険感受性を育てるための題材を提供します。今回は四輪車のドライバーに、高速道路の料金所を通行する際の危険を考えてもらうためのKYTです。企業/団体などでのグループ教育の学習の中で活用してください。



あなたは高速道路の料金所に近づいてきました。これから通行料の支払いをします。どのようなことに注意して運転しますか？

Q1 どのような危険がありますか？

- ①直進して正面のブースに入るつもりなので、とくに危険はない
- ②通行券や財布に気をとられ脇見してしまう
- ③減速が不十分で前車に追突してしまう

Q2 どのような運転をしますか？

- ①周囲のクルマの動きに注意し、スピードメーターで速度を確認してブースに接近する
- ②脇見が生じやすいことを考慮し、車間距離を十分にとる
- ③周囲のクルマに注意を促すためクラクションを鳴らす

正解を1つ、または2つ選んでください

©本田技研工業(株)

SJクイズ ?

Q1 平成20年中の交通事故で最も多い事故類型は車両相互事故の「追突」ですが、その構成率は次のうちどれ？



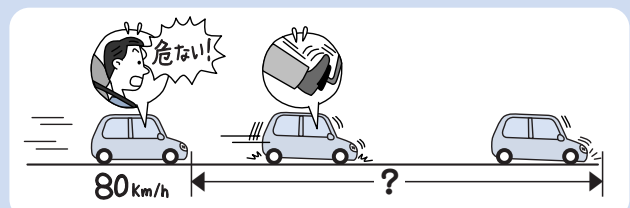
- ①約25% ②約30% ③約35% ④約40%

Q2 平成20年中の原付以上運転者(第1当事者※)による交通事故件数を法令違反別にみると、最も多い違反は安全不確認(構成率31.5%)ですが、次に多い違反はどれ？

- ①脇見運転 ②漫然運転 ③一時不停止 ④信号無視

※第1当事者=交通事故の当事者のうち、過失が最も重い者又は過失が同程度の場合は、被害が最も軽い者

Q3 乾いた舗装路面を80km/hで走行中のクルマが危険を認知して急ブレーキをかけた場合の停止距離(空走距離+制動距離)の目安は、次のうちどれ？

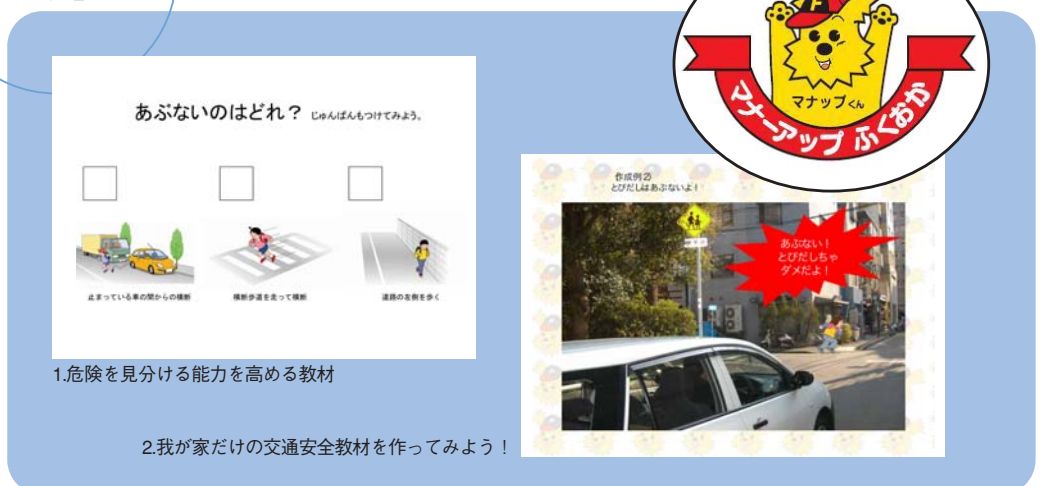


- ①約44m ②約58m ③約76m ④約93m

※「解答」は7面下。「解説」は下記SJホームページでご覧いただけます。  
<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/sj/>

The 教材

このコーナーでは、全国各地の自治体や警察、企業・団体などが制作した交通安全教育教材をご紹介します。



File.2 福岡県ホームページ内 マナップくんの「みんなでまなぼうこうつうあんぜん」

企画・制作：福岡県 新社会推進部 生活安全課

●ページの紹介

福岡県の交通安全シンボル「マナップくん」をメインキャラクターに、親子で楽しく交通安全について学べるページ。危険を見分ける能力を向上させるクイズや、マナップくんのポップアップペーパークラフトなど、遊びながら学べるコンテンツが掲載されている。

●教材の特徴

福岡県新社会推進部生活安全課によると、マナップくんの「みんなでまなぼうこうつうあんぜん」の特徴は主に以下の2つの点であるという。

1. 危険を見分ける能力を高める教材を提供

このホームページから、危険を見分ける能力(危険認知能力)を高める方法とクイズがダウンロードできる。クイズは、どこが、どのように危ないのか、また、どうしたら危険を回避できるのかなどを、親子で楽し

く対話しながら取り組む内容となっている。

2. オリジナルの交通安全教材が作れる

交通安全教材を作成するためのイラストがホームページからダウンロード可能。また、「飛び出し注意」「こんなところで遊んでいいのかな?」をテーマとした交通安全教材の作成例が掲載されている。作成例を見ながら、近所の危険箇所の写真とイラストを組み合わせ、オリジナルの交通安全教材を作成することができる。

●ホームページのアクセス方法

福岡県庁ホームページ <http://www.pref.fukuoka.lg.jp/> から、防災・防犯とくらし→交通安全→マナップくんの「みんなでまなぼうこうつうあんぜん」